

第1回定例会

第1回定例会が3月9日から16日の間で開催され、平成22年度一般会計ほか7特別会計予算を審議し、原案のとおり可決しました。

・審議した議案

平成22年度当初予算総額は

68億9119万4千円 (前年比7.1%減)

一般会計は**44億903万1千円** (前年比11.2%減)

子ども手当として8,476万円を予算計上!

- 平成22年度佐呂間町一般会計予算
- 平成22年度佐呂間町簡易水道特別会計予算
- 平成22年度佐呂間町国民健康保険特別会計予算
- 平成22年度佐呂間町老人保健特別会計予算
- 平成22年度佐呂間町公共下水道特別会計予算
- 平成22年度佐呂間町介護保険特別会計予算
- 平成22年度佐呂間町介護サービス事業特別会計予算
- 平成22年度佐呂間町後期高齢者医療特別委員会に付託され審議を行いました。

本会議において委員長より審査結果報告がなされ、採決の結果、賛成多数で原案のとおり可決されました。

予
算

審
議
し
た
議
案

平成22年度 佐呂間町各会計当初予算

単位：千円

会計区分	22年度当初予算	21年度当初予算	対前年度増減額	増減率	
一般会計	4,409,031	4,962,726	△553,695	△11.2%	
特別会計	簡易水道	485,693	460,379	25,314	5.5%
	国民健康保険	908,589	974,792	△66,203	△6.8%
	老人保健	872	872	0	0.0%
	公共下水道	239,435	245,424	△5,989	△2.4%
	介護保険	530,488	494,695	35,793	7.2%
	介護サービス事業	246,231	212,764	33,467	15.7%
	後期高齢者医療	70,855	67,187	3,668	5.5%
合計	6,891,194	7,418,839	△527,645	△7.1%	

9～10頁に掲載しています。特別委員会での質疑の内容は



第1回定例会

条例改正3件、同意案件1件、その他案件7件の審議を行い、すべて可決しました。

・審議した議案

22年度の主な事業

- ・辺地共聴施設地上デジタル改修事業
- ・姉妹都市提携30周年記念事業
- ・子ども手当支給事業
- ・任意予防接種費用助成
- ・若佐歯科診療所改修工事
- ・ごみ収集車購入事業
- ・住宅用太陽光発電システム導入事業費補助金
- ・プレミアム付全町共通商品券発行事業
- ・トイヨータイヤ販売促進事業
- ・緊急雇用創出事業
- ・佐呂間高校裏通り道路整備事業
- ・佐呂間30号道路整備事業
- ・若佐第1団地建替設計委託
- ・スクールバス購入事業
- ・浜佐呂間簡易水道区域拡張事業

条例

□特別職及びその他の報酬額、費用弁償額及びその支給方法に関する条例等の一部を改正する条例制定について

本年4月1日より「網走支庁」が「オホーツク総合振興局」に変更されることに伴い、関係する町条例5件の条文を改めるため、条例の一部改正を行いました。

□佐呂間町手数料条例の一部を改正する条例制定について

地籍図の電算化に伴い、コピー印刷から、パソコン印刷の交付に変更となるため、本年5月より地籍に関する手数料を改正するものです。

□重度心身障害者及びひとり親家庭等の医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例制定について

重度心身障害者にかかる医療費の助成について、従来の対象者に加えて、新たに3級までの肝臓の機能障害のある者も対象とする改正を行いました。

同意

□網走支庁管内町村公平委員会委員の選任につき同意を求めることについて

網走支庁管内町村公平委員会委員として、次の方の選任を同意しました。
紋別郡湧別町
奥谷公敏氏

その他

□網走支庁管内町村公平委員会を共同設置する地方公共団体の数の減少及び規約の一部変更について
管内町村交通災害共済組合が解散すること等による規約の改正です。

□網走地方教育研修センター組合規約の一部変更について
支庁制度改革により「網走支庁」が「オホーツク総合振興局」と変更になるための規約改正です。

□北海道市町村総合事務組合規約の一部改正について

□北海道市町村職員退職手当組合規約の一部改正について

□北海道町村議会議員公務

災害補償等組合規約の一部改正について

道内における地方公共団体組合の解散脱退及び名称変更等により関連する規約が改正となりました。

□悠林館「かぶとむし」に係る指定管理者の指定について

悠林館「かぶとむし」の指定管理者の指定を次のとおり議決しました。

- ・指定する指定管理者
網走郡津別町字相生
株式会社愛生の社
代表取締役 大石 税
- ・管理を行わせる期間
平成22年4月1日から
平成32年3月31日

□物産館「みのり」に係る指定管理者の指定について

物産館「みのり」の指定管理者の指定を次のとおり議決しました。

- ・指定する指定管理者
佐呂間町字浪速
株式会社ドリームフロンティア
代表取締役 高橋俊道
- ・管理を行わせる期間
平成22年4月1日から
平成32年3月31日

第1回定例会

平成21年度一般会計ほか6特別会計の補正予算及び専決処分（補正予算）を原案のとおり可決しました。

・ 審議した議案

： 平成21年度各会計補正予算：

**地域活性化・きめ細かな臨時交付金事業として
約1億6000万円、28件の工事を予算化!!**

□平成21年度佐呂間町一般会計補正予算（第9号）

2億6906万9千円が追加され、予算の総額が56億765万2千円になりました。

・ 各公共施設整備基金積立金 2億500万円
・ 地上デジタルテレビ中継局整備工事 862万5千円減
・ 後期高齢者医療費療養給付費負担金 752万7千円減
・ 新規就農者奨励補助金 562万円
・ 漁港修築事業地元負担金 521万3千円減
・ 水産業振興構造改善事業補助金 1261万7千円減
・ 住宅建設促進事業費補助金 523万円減
・ 悠林館外壁等塗装工事 503万円
・ 町道武士39号道路舗装補修工事 540万円
・ 西富公営住宅物置設置工事 722万4千円
・ 佐呂間小学校駐車場舗装工事 1725万2千円
・ 武道館・温水プール屋上防水工事 1700万円
・ 佐呂間町簡易水道特別会計繰出金 874万円

□平成21年度佐呂間町簡易水道特別会計補正予算（第6号）

2748万円が減額され、予算の総額が4億5252万円になりました。

・ 雑入 704万2千円
・ 簡易水道配水管布設工事費 3880万円減

【主な歳入】
・ 普通交付税 3億1716万8千円
・ 地域活性化・公共投資臨時交付金 808万3千円
・ 地域活性化・きめ細かな臨時交付金 9234万7千円
・ 水産業振興構造改善事業費補助金 1162万9千円減
・ 財政調整基金繰入金 1億900万円減
・ 減債基金繰入金 2000万円減
・ 各公共施設整備基金繰入金 4700万円減
・ 国鉄湧網線代替輸送確保基金繰入金 1200万円減
・ 前年度繰越金 8692万6千円

【主な歳入】
・ 療養給付費等交付金過年度分 1484万7千円減
・ 療養給付費等交付金過年度分 1345万2千円
・ 普通調整交付金（道補助金） 578万3千円減
・ 高額医療費共同事業交付金 2331万2千円減
・ 国保事業基金繰入金 1000万円減
・ 療養給付費等交付金繰入金 583万9千円
・ その他繰越金 2559万円

□平成21年度佐呂間町国民健康保険特別会計補正予算（第4号）

9500万2千円が減額され、予算の総額が8億8806万9千円になりました。

【主な歳入】
・ 一般被保険者療養給付費負担金 8024万3千円減
・ 一般被保険者高額療養費負担金 1056万7千円減
・ 保険財政共同安定化事業拠出金 965万2千円減
・ 国庫負担金等返還金 583万9千円

【主な歳出】
・ サロマ福祉会ケアハウス増築事業費債 1350万円減

□平成21年度佐呂間町老人保健特別会計補正予算（第2号）

232万8千円が追加され、予算の総額が476万5千円となりました。

□平成21年度佐呂間町公共下水道特別会計補正予算（第5号）

131万5千円が減額さ

・ 普通調整交付金（国庫補助金） 3264万3千円減
・ 療養給付費等交付金現年度分 4402万6千円減
・ 療養給付費等負担金現年度分 4402万6千円減

【主な歳出】

【主な歳入】

【主な歳入】

【主な歳入】

第1回定例会

・ 審議した議案

れ、予算の総額が2億5977万3千円となりました。

□平成21年度佐呂間町介護保険特別会計補正予算

(第4号)

875万1千円が減額され、予算の総額が4億8940万8千円となりました。

【主な歳入】

・ 介護給付費交付金現年度分

794万9千円減

・ 介護給付準備基金繰入金

542万2千円減

・ 前年度繰越金

1163万1千円

【主な歳出】

・ 居宅介護サービス給付費

1715万1千円減

・ 介護給付準備基金積立金

722万円

□平成21年度佐呂間町後期高齢者医療特別会計補正予算 (第1号)

292万4千円が減額され、予算の総額が6426万3千円となりました。

【主な歳入】

・ 現年度分特別徴収保険料

1381万8千円減

・ 現年度分普通徴収保険料

1246万1千円

□専決処分の承認を求めることについて

平成21年度佐呂間町一般会計補正予算(第8号)の専決処分について承認しました。

予備費充当につき、歳出予算の総額に増減なし。

(主な歳出)

・ 議会葬に要する経費

300万円



議案・補正予算 質疑の中から

◎佐呂間斎場について

【質】佐呂間斎場について今後

修理の計画はあるのか。

【答】今回の耐火物の張替え工事により火葬炉は10年以上は大丈夫とのこと。

ただ建物は平成3年建設で年数も経過しており、もし無煙装置等の修理が必要となった場合相当高額となることから、どこかの段階でかかる経費をお知らせしたいと考えている。

◎キムアネップキャンプ場について

【質】キャンプ場の利用者数と休憩所の管理はどうしているか。

【答】平成20年度のキャンプ場の利用者は1687名で、管理人が6月から9月下旬頃まで常駐している。

◎特定検診について

【質】特定健診の健診率は23.4%とのことだが、これは高い数字なのか。

【答】管内的には中の下ぐらいの健診率だと思うが、保健事業や教育委員会の健康に関する事業等ともタイアップし、健診率向上を含め健康づくりを進めたい。

◎悠林館の指定管理者について

【質】悠林館の指定管理者の公募は公正だったといえるのか。

また管理の期間も前は5年だったものが、今回は10年に変更となったが、これは長くないのか。

【答】今回の悠林館の指定管理者の公募については、株式会社「愛生の社」の民事再生の絡みがあったのは事実だが、過去5年間の悠林館での経営実績を踏まえての選定である。

民事再生計画は、顧問弁護士と公認会計士もついており、10年間の再生計画である。この10年間をきちっと経営をやりながら、再生債権を弁済していくという事で、その間、会社を立派に立て直してもらいたいと考えている。大石社長の佐呂間町にかけ

第1回定例会

意見書1件を可決し関係省庁に提出しました。

町長より行政報告がなされました。

- ・ 審議した議案
- ・ 町長行政報告

意見書

□食料供給力の確保に必要な農業生産基盤整備の促進を求める意見書の提出について

国は、平成22年度農業関係の予算編成において、戸別所得保障制度のモデル対策費に予算を重点配分する一方で、農業農村整備事業費を大幅に削減した。

今後とも地域農業・農村が持続的に発展し、農業者が意欲をもって食料を安定的に生産できる条件を確保していくために、必要な予算枠の確保等を関係機関に要望する意見書が可決され、衆参両院議長ほか関係省大臣宛に提出しました。



町長行政報告

(要旨)

□遠軽厚生病院の診療体制について

去る2月24日に遠軽町長及び湧別町長とともに北海道厚生連本部を訪問した折に、遠軽厚生病院の脳神経外科の診療体制について報告を受けました。

遠軽厚生病院の脳神経外科の診療は、現在4月以降の常勤医師の確保ができない状況にあり、脳卒中や脳梗塞などで脳神経外科に入院している患者については北見市などの専門医のいる病院に転院していただき、新規の入院を受け付けない状況とのことであります。

4月からは、火曜日と金曜日の週2回のみ旭川医大から医師の派遣を受け、外来患者に対する診察は継続していく

とのこと。

今後については、常勤医師の確保に全力を尽くすことに加え、将来にわたって遠軽厚生病院から脳神経外科を絶やさないためにも、たとえ週2日の診療でも継続することが必要とのこと。

これによる医師の確保には莫大な経費がかさむとのこと、この経費について遠軽町・湧別町・佐呂間町3町の協力を願いたいとの要請がありました。

3町長からも遠軽地区の脳神経外科は遠軽厚生病院が唯一の診療機関であることから、脳疾患患者の救急医療確保のため、早急な常勤医師の確保を要請しました。



第2回定例会は6月に開催されます!!

日程の詳細は、町広報6月号の折込みチラシをご覧ください。

